

EXHIBITION EARTHQUAKE POSTER SUPPORT PROJECT, ILLUSTRATION POSTER EXHIBITION EARTHQUAKE POSTER SUPPORT PROJECT

アキバタマビ21 第67回展覧会
地震ポスター支援プロジェクト
イラストレーション・ポスター展
千代田区と地震
2018年3月16日(金) - 4月20日(金)
12:00 - 19:00(金・土は20:00まで) 火曜休場・入場無料
アキバタマビ21(3331 Arts Chiyoda 2F 201・202)



アキバタマビ21 第67回展覧会 地震ポスター支援プロジェクト イラストレーション・ポスター展 千代田区と地震

2018年3月16日(金) - 4月20日(金)
12:00-19:00(金・土は20:00まで) 火曜休場・入場無料
アキバタマビ21(3331 Arts Chiyoda 2F 201・202)

この展覧会の母体は、多摩美術大学で2004年から毎年継続して行われている「地震ポスター支援プロジェクト」です。このプロジェクトは、多摩美術大学の秋山孝教授によって、2004年に発生した新潟県中越地震をきっかけに始まりました。その目的は「ポスターの力を使い災害を忘れずに記録すること」です。主な活動内容は、教員と学生による地震災害をテーマとしたイラストレーション・ポスターの制作、展覧会による発表、冊子による記録です。

地震災害のきっかけは自然現象ですが、二次災害、三次災害へと拡大する被害は油断や不注意、つまり人災によるものです。この展覧会では、これら人災のひとつである記憶の風化に着目しました。世界有数の地震多発国である日本では、災害が発生する度に多くの記録や教訓が残されてきました。しかし、一方で時間の経過とともに過去の記憶は風化しています。そこで、この課題にグラフィックデザインの分野から向き合い、情報の風化を防ぐことで過去の教訓を活かし、未来の震災に備えることを目的としています。

地震災害をテーマとしたイラストレーション・ポスターの魅力は、特徴的な形や社会構造の表現によって、問題の本質を浮上させる点にあります。一方、イメージの普遍化は、教訓が形骸化して記憶が風化する要因でもあります。そこで、地域ごとの特殊性を考慮して、会場であるアキバタマビ21の所在地、東京都千代田区を舞台としました。出品者がそれぞれの視点で見出したイメージが、多くの人々の記憶に残すことができれば幸いです。



高橋庸平 TAKAHASHI Yohei



小川雄太郎 OGAWA Yutaro



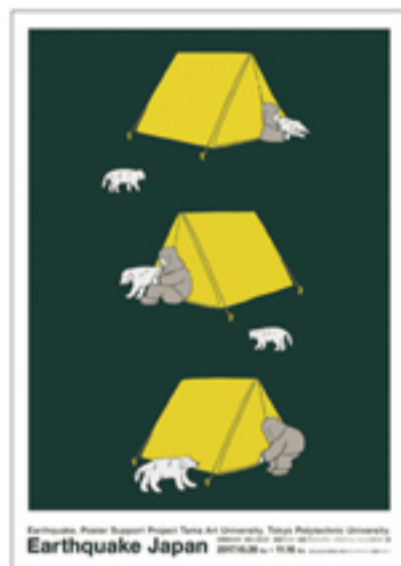
堀池真美 HORIKE Mami



大町駿介 OMACHI Shunsuke



鷺尾恵一 WASHIO Keiichi



橋村実里 HASHIMURA Misato

3月18日(日) 16:00-17:00 トークショー

ゲスト:秋山孝氏 (多摩美術大学教授、秋山孝ポスター美術館長岡館長)

トークショー終了後、レセプションを行います。

AKIBA
YAMABI 21

〒101-0021

東京都千代田区外神田 6-11-14

3331 Arts Chiyoda 201・202

TEL: 03-5812-4558

E-Mail: office@akibatamabi21.com

URL: http://www.akibatamabi21.com

- 東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分
- 東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分
- 都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分
- JR御徒町駅南口より徒歩7分
- JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分

「アキバタマビ21」は多摩美術大学が運営する、若い芸術家たちのための作品発表の場である。ここでは若い芸術家たちが、互いに切磋琢磨しながら協働し共生することを体験する場であり、他者と触れ合うことで自我の殻から脱皮し、既存のシステムや権威に依存することなく自らをプロデュースし自立していくための、鍛錬の場でもある——そうありたいという希望を託して若い芸術家たちにゆだねる、あり得るかもしれない「可能性」の場であり、その可能性を目撃していただく場所である。

